

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年9月1日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	7月の価格情報			8月の価格情報			生育及び価格の9月の見通し	
	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	平年価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額				
		下旬		上旬	中旬			
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	62	74.19	68	89	・入荷見込量：14,620(100) ・主産地：群馬(77)、岩手(14)、北海道(2)	
		88.91	67	88.91	75	94	・入荷見込量：3,800t(95) ・主産地：群馬(72)、長野(26)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ) 	273.33	261	273.33	221	317	・入荷見込数量：5,090t(105) ・主産地：青森(30)、北海道(16)、秋田(16)、山形(10)、茨城(9)、岩手(5)、輸入(4)	
		487.13	277	487.13	314	403	・入荷見込数量：180t(100) ・主産地：香川(22)、徳島(20)、三重(14)、大阪(12)、奈良(12)	
	はくさい 	58.82	59	78.06	83	114	・入荷見込量：9,110t(100) ・主産地：長野(91)	
		62.79	54	88.72	85	120	・入荷見込量：3,900t(94) ・主産地：長野(99)	
	ほうれんそう 	583.95	639	583.95	632	661	・入荷見込量：860t(100) ・主産地：群馬(30)、栃木(24)、茨城(16)、岩手(11)	
		670.86	659	670.86	647	709	・入荷見込量：360t(91) ・主産地：岐阜(82)、北海道(10)	
	レタス (結球) 	120.13	133	158.27	138	149	・入荷見込量：9,090t(95) ・主産地：長野(84)、群馬(9)	
		125.61	140	152.57	149	160	・入荷見込量：1,900t(94) ・主産地：長野(97)	
たまねぎ 	84.85	117	84.85	124	120	・入荷見込量：12,180t(110) ・主産地：北海道(87)、輸入(4)		
	84.85	113	84.85	125	137	・入荷見込量：3,400t(104) ・主産地：兵庫(51)、北海道(44)		
果 菜	きゅうり 	210.69	186	210.69	180	410	・入荷見込量：6,680t(95) ・主産地：福島(30)、岩手(10)、群馬(10)、秋田(10)、埼玉(9)、茨城(9)、宮城(7)	
		221.71	182	221.71	185	449	・入荷見込量：1,550t(100) ・主産地：福島(29)、北海道(28)、愛媛(12)、大阪(6)、宮崎(6)	
	トマト (大玉) 	229.51	248	229.51	212	201	・入荷見込量：8,060t(100) ・主産地：千葉(18)、福島(17)、青森(16)、北海道(12)、茨城(12)、群馬(9)	
		271.33	264	271.33	234	230	・入荷見込量：1,700t(86) ・主産地：岐阜(39)、北海道(32)、岡山(8)	
	なす 	209.55	255	209.55	216	322	・入荷見込量：3,670t(100) ・主産地：栃木(31)、群馬(25)、茨城(23)、埼玉(6)	
		221.72	246	221.72	259	320	・入荷見込量：800t(71) ・主産地：埼玉(20)、山梨(19)、徳島(15)、大阪(6)、奈良(6)	
	ピーマン 	251.50	253	263.58	277	277	・入荷見込量：2,080(100) ・主産地：茨城(39)、岩手(35)、福島(12)、青森(10)	
		266.65	225	282.16	232	262	・入荷見込量：490t(95) ・主産地：青森(22)、茨城(16)、福島(14)、兵庫(12)、北海道(11)、愛媛(8)、大分(7)	
	根 菜	だいこん 	94.60	70	94.60	73	100	・入荷見込量：11,480t(100) ・主産地：北海道(60)、青森(34)、岩手(4)
			100.39	72	100.39	75	102	・入荷見込量：3,600t(94) ・主産地：北海道(60)、青森(14)、岐阜(9)、岩手(7)、群馬(6)
にんじん 		133.01	106	123.08	116	105	・入荷見込量：7,940t(105) ・主産地：北海道(97)、輸入(1)	
		132.62	106	123.11	113	109	・入荷見込量：2,700t(100) ・主産地：北海道(98)	

種類	7月の価格情報			8月の価格情報			生育及び価格の9月の見通し
	7月の価格情報 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		8月の価格情報 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		
		下旬	中旬		下旬	中旬	
いも	さといも	344.00	309	242.66	320	366	・入荷見込量：960t (100) ・主産地：千葉 (63)、宮崎 (17)、輸入 (3)
		347.90	273	220.11	318	430	・入荷見込量：247t (-) ・主産地：宮崎 (54)、愛媛 (28)、輸入 (6)、大阪 (6)
	ばれいしょ	101.61	129	101.61	123	123	・入荷見込量：8,510 (105) ・主産地：北海道 (94)
		101.61	129	101.61	118	119	・入荷見込量：3,800t (94) ・主産地：北海道 (95)

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
5 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、7月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,542gで前年比102%、購入金額は、1,770円で前年比109%となった。
また、小売物価統計によると、8月のキャベツの小売価格は、158円で過去5か年平均比113%、レタスは、419円で前年比101%とともに過去5か年平均を上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年		前年比	前年比
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)		
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	1,775	103	106
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	1,742	102	105
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	1,861	99	105
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	1,887	97	104
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5,146	1,993	98	107
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	4,998	1,976	95	104
7月	4,423	1,712	4,456	1,783	4,542	1,770	102	99
8月	4,324	1,713	4,422	1,741			0	0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863			0	0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932			0	0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806			0	0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093			0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均

主要野菜の小売価格(東京都都区部)

	キャベツ						レタス					
	過去5か年平均		平成26年		5か年比(%)		過去5か年平均		平成26年		5か年比(%)	
	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準	平均	標準
1月	198	267	135	673	684	102	140	158	113	415	419	101
2月	211	234	111	605	578	95	149	149	0	506	506	0
3月	200	200	100	498	459	92	158	158	0	449	449	0
4月	248	206	83	469	381	81	162	162	0	421	421	0
5月	169	175	104	371	351	95	162	162	0	421	421	0
6月	137	147	108	317	321	101	162	162	0	421	421	0
7月	153	173	113	322	338	105	162	162	0	421	421	0
8月	140	158	113	415	419	101	162	162	0	421	421	0
9月	149	149	0	506	506	0	162	162	0	421	421	0
10月	158	158	0	449	449	0	162	162	0	421	421	0
11月	162	162	0	421	421	0	162	162	0	421	421	0
12月	162	162	0	421	421	0	162	162	0	421	421	0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。
2 平成26年8月の値は、8月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

7月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比105%の6万6千トン、加工野菜は同95%の16万1千トン、野菜全体は、同98%の22万7千トンとなった。このうち中国産野菜合計は97%の11万7千トンとなった。
生鮮野菜は前年をやや上回ったものの、加工野菜は前年をやや下回ったことから、野菜全体では前年をわずかに下回った。

野菜の輸入数量

区分	平成24年		平成25年		平成26年1～7月		平成26年7月	
	前年比		前年比		前年同月比		前年同月比	
	数量	割合	数量	割合	数量	割合	数量	割合
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	583,111	117	65,627	105
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	1,089,936	101	160,964	95
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	1,673,047	106	226,591	98
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	831,407	106	117,418	97
中国産シェア	51		52		50		52	

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成25年7月(A)		平成26年7月(B)		(B)/(A)
		数量	割合	数量	割合	
		トン	%	トン	%	
たまねぎ	合計	23,022	135	31,097	134	
	中国	21,731	134	29,033	134	
	ニュージーランド	573	278	1,593	278	
にんじん	合計	7,534	87	6,525	87	
	中国	7,174	88	6,326	88	
	ニュージーランド	284	54	154	54	
ねぎ	合計	5,138	107	5,485	107	
	中国	5,136	107	5,482	107	

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年7月は、速報値。

4 トピック - カット野菜の消費動向調査(Web調査)の概要①

近年、需要が堅調なカット野菜(簡便野菜(キャベツの千切り等)、鍋物セット、野菜カップサラダ、ポテトサラダの4種類に分類)について、消費者の購買行動の特徴を当機構が実施したWeb調査(平成25年11月)をもとに紹介する。

カット野菜の購入先(複数回答可、以下同じ)としては、回答者の約9割がスーパーマーケット・生協等と最も多く、次いでコンビニエンスストアも約4割を占めたが、百貨店・デパート、弁当屋・惣菜店は約1割であった。

購入先別に購入する種類の違いをみると、スーパーマーケット・生協等では、簡便野菜の購入が比較的多く、コンビニエンスストアでは、野菜カップサラダの購入が約5割、弁当屋・惣菜店では、野菜カップサラダやポテトサラダの購入が約5割を占めるなど、購入先の違いで特徴がみられる。

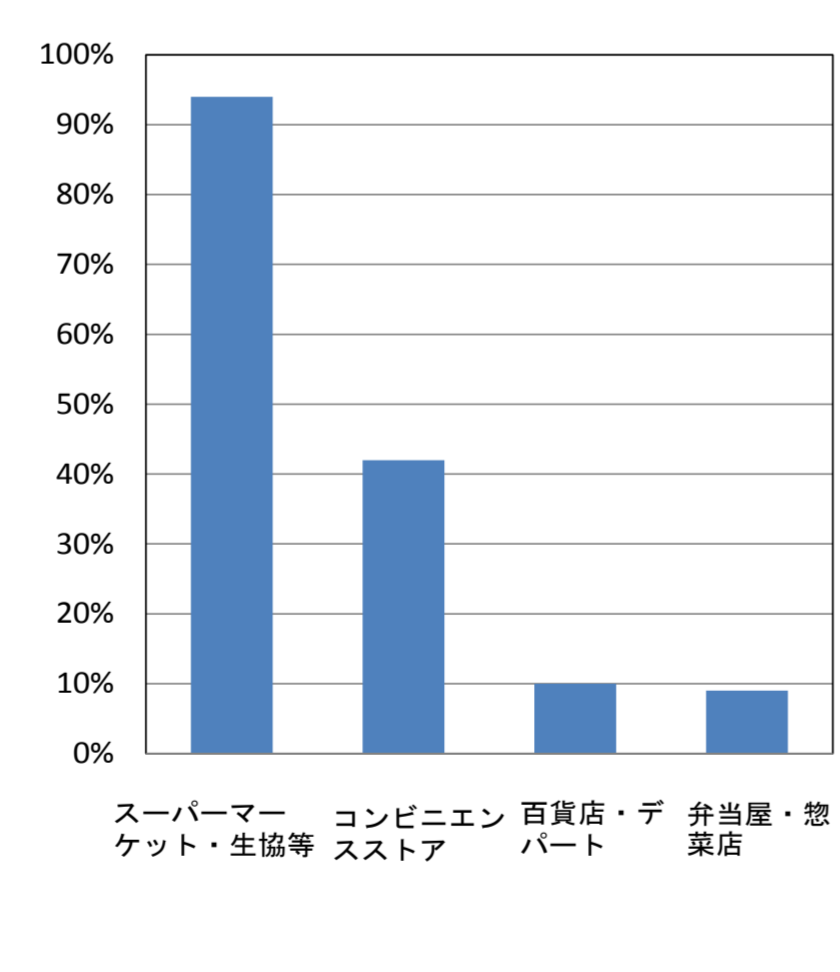
カット野菜の一品当たりの購入価格は、全体では、200円未満の割合が約6割を占めている。種類別では、簡便野菜では約8割、ポテトサラダでは約6割が200円未満となっており、鍋物セット(200円未満の割合：約2割)を除けば、生鮮野菜の購入と同様に、比較的購入し易い200円未満の価格帯が中心となっている。

カット野菜の1か月当たりの購入頻度は、簡便野菜、野菜カップサラダ、ポテトサラダでは、1回以上の購入が約5割を占めている。

このうち、簡便野菜と野菜カップサラダの購入頻度を購入者の属性別にみると、単身・単身者男性層が高く、専業主婦層では相対的に低いものの、専業主婦層でも一定割合は高い頻度で購入している。

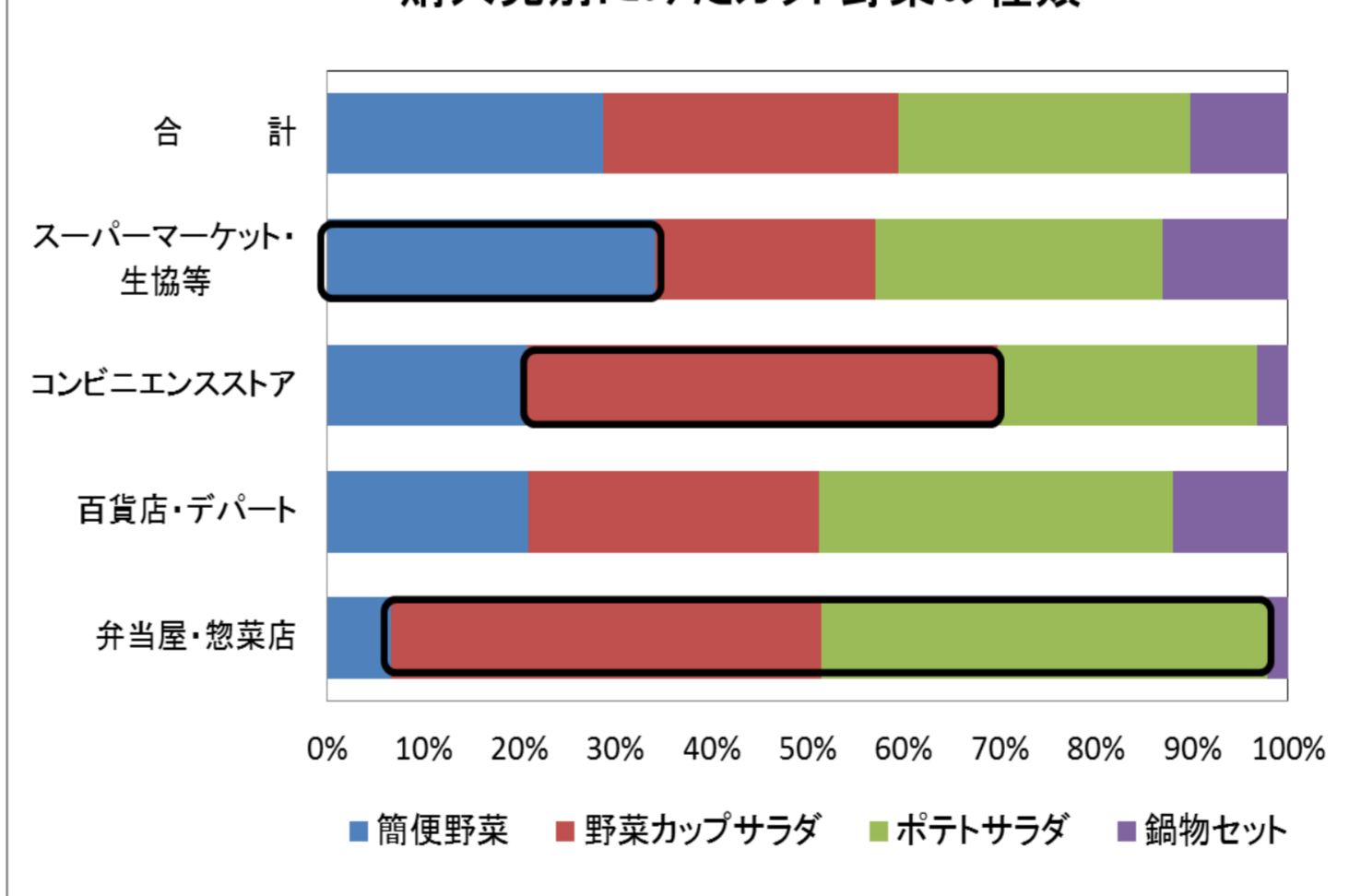
このように、カット野菜の購買行動は、需要が伸びるなかで多様化しており、これらの特徴も踏まえながら、国内産地の供給体制づくりが求められている。

カット野菜の購入先



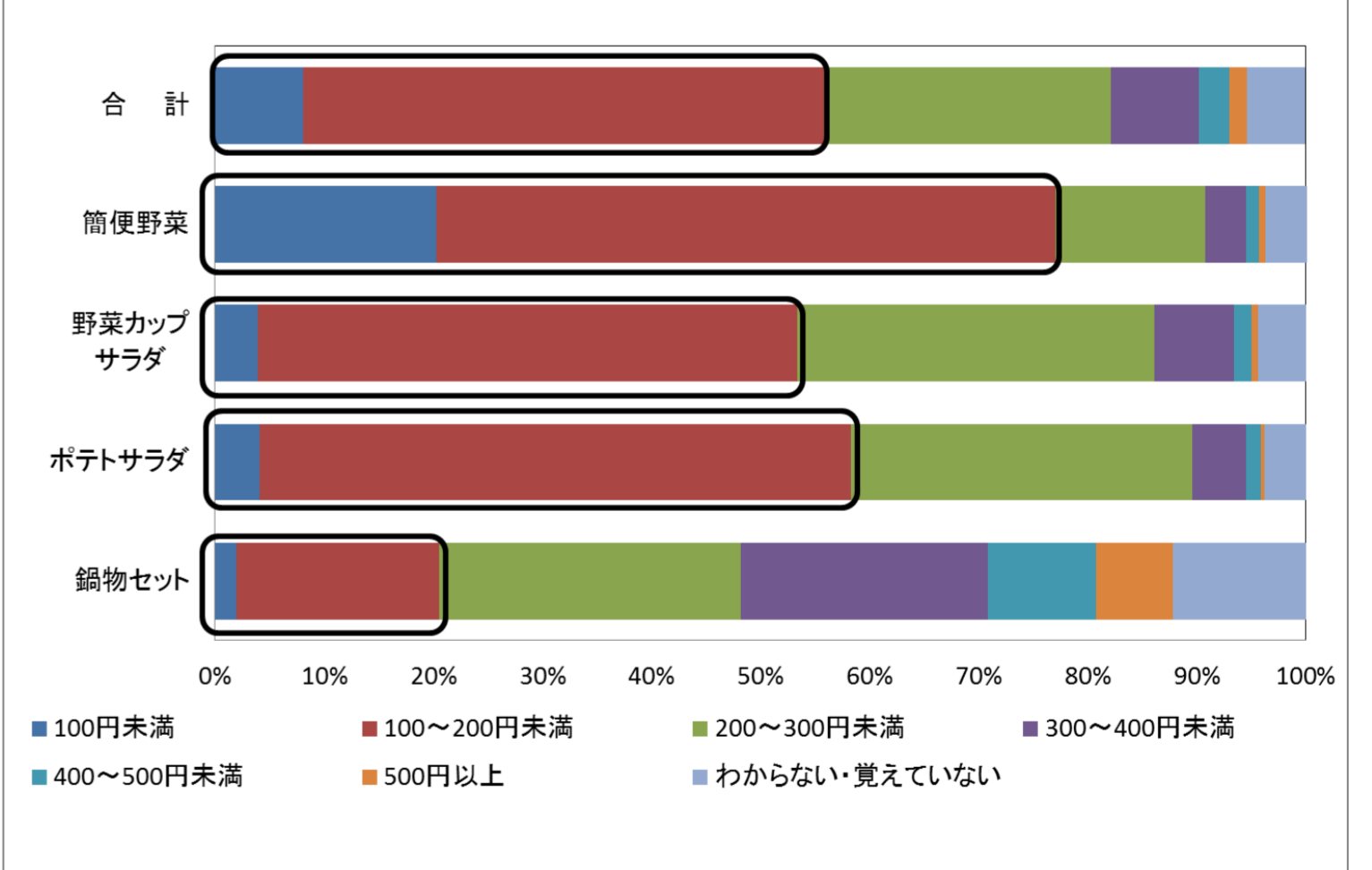
資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

購入先別にみたカット野菜の種類



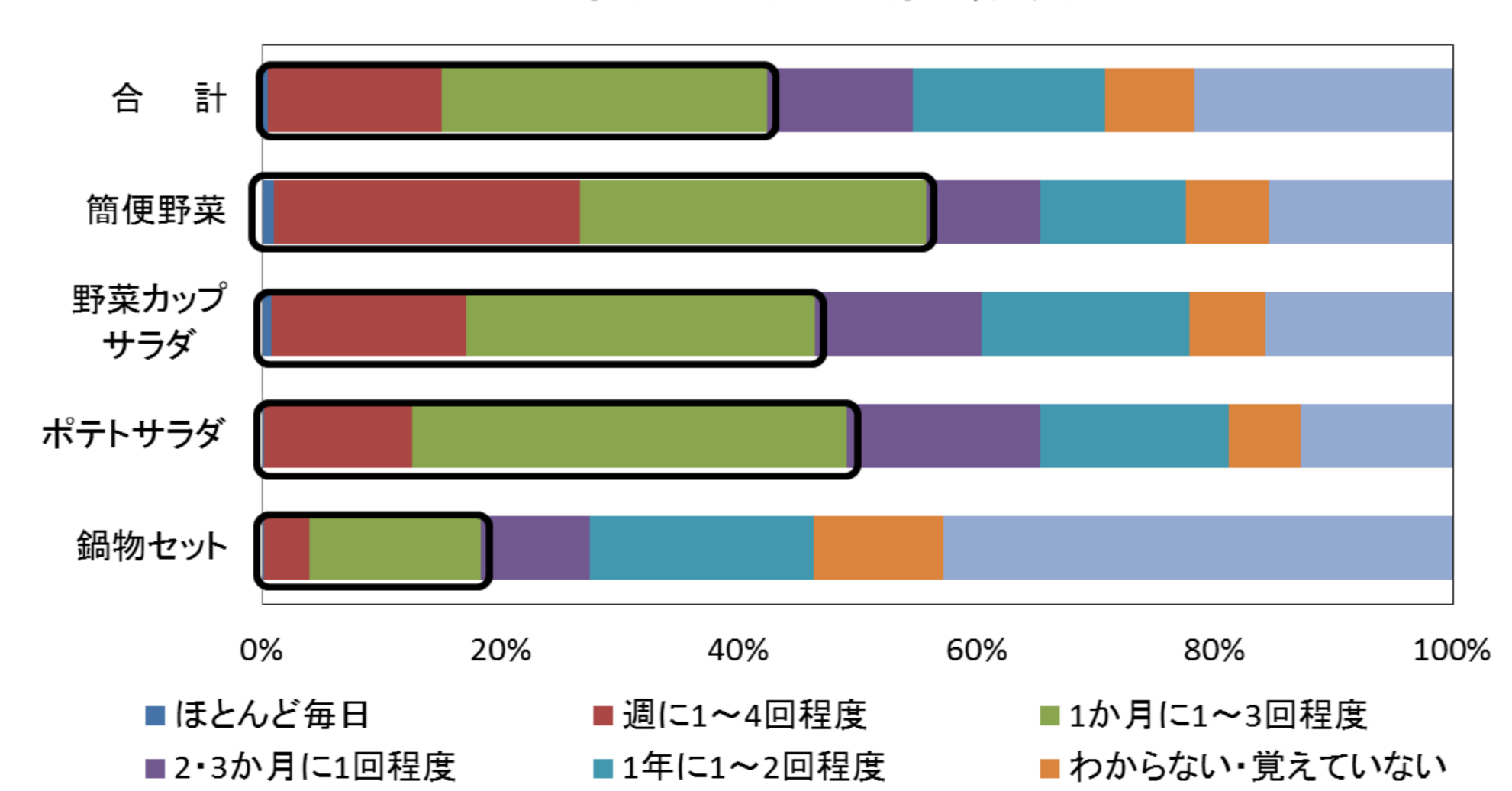
資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

カット野菜の購入価格帯



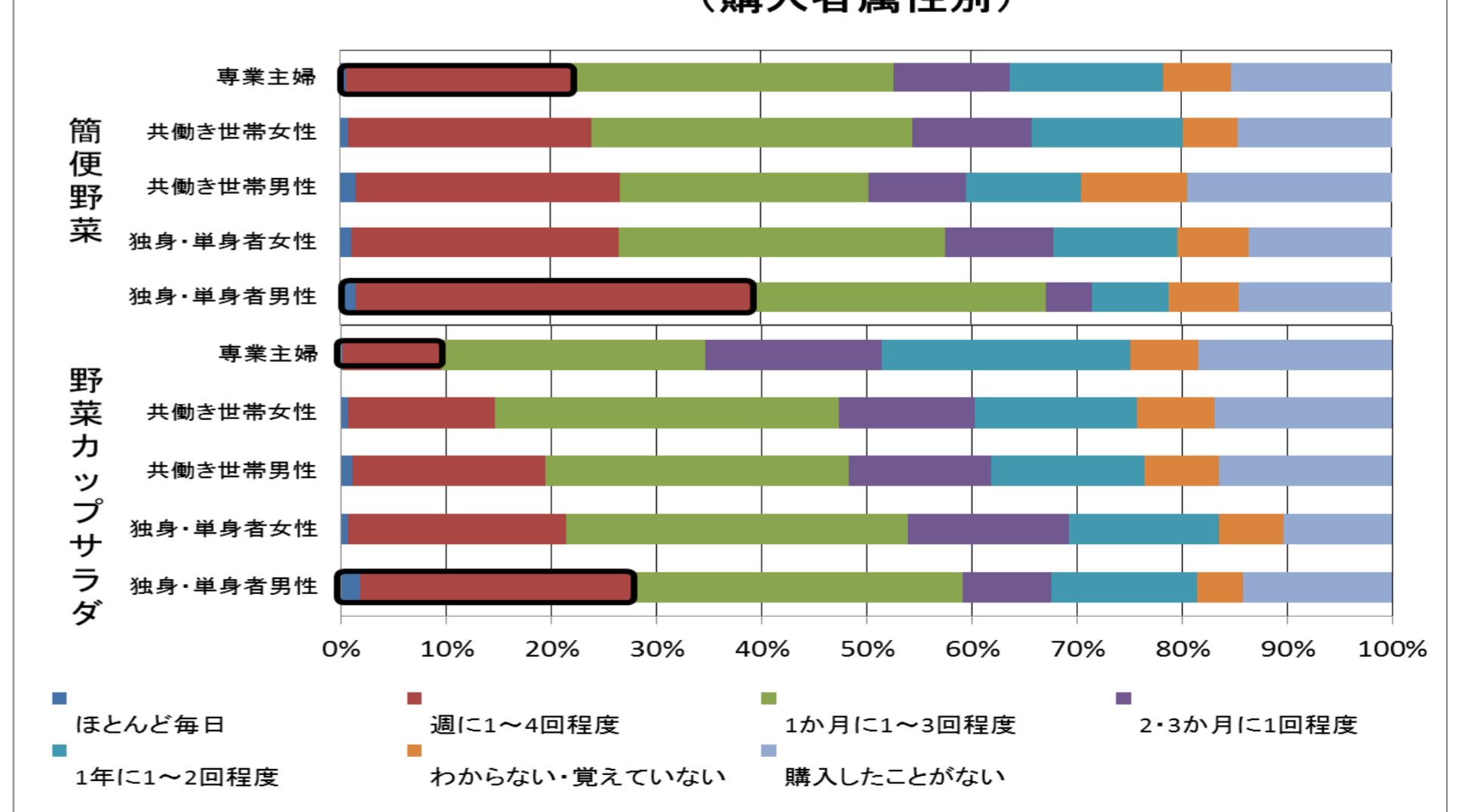
資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

カット野菜の年間の購入頻度



資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

簡便野菜、野菜カップサラダの購入頻度(購入者属性別)



資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。